

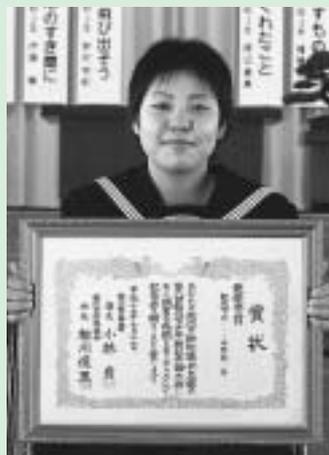
第8回能代市少年防犯弁論大会 最優秀作品を紹介いたします

10月12日、能代東中学校で「第8回能代市少年防犯弁論大会」が開催されました。そこで、最優秀賞に選ばれた作品と、受賞結果を紹介します。

「ちよつとした油断

心のすき間に…」

能代東中学校 2年
伊藤 舞



皆さんは「非行」と「不良」の違いがわかりますか？

辞典で調べてみると、非行は「社会規範からはずれた行い」とあり、不良は「勉強やしなげなければならないことに身を入れず悪い遊びや行動に時間をつぶす人」とありました。

では、具体的にはどういう行いをいうのでしょうか。わたしは能代警察署に電話をして聞いてみました。すると、非行とは万引きや窃盗など法に触れる犯罪を犯した人のことをいうのだそうです。そして不良とは、飲酒や喫煙、

問合せ) 市民係 ☎89-2132

深夜徘徊、不健全性行為などをした人のことをいうのだそうです。ちなみに今年1月から8月までの8カ月間に、非行で2人、不良で10人の中学生が市内で補導されているそうです。

わたしは驚きました。この能代東中学校にいて、非行や不良というのは、自分とは関係のない遠い世界での出来事のような気がしていました。ですが、実際にわたしたちの身近なところにも不良や非行の影は確実に迫っていたのです。

そこで、わたしは先日、東中学校の生徒の意識調査を行いました。いわゆる不良行為に対して、どういう考えを持っているか知りました。そうです。

すると、喫煙・飲酒に関して「別に構わない」、「本人の自由である」と答えた生徒が全校で24人いました。

また、夜遅く出歩くことが不良行為であり、深夜徘徊として補導されることを、38人、つまり全体の32%の人が知らなかったのです。たぶん「夜遅く出歩くぐらい大したことではない」という気持ちなのだと思えます。

実際、わたしたちの生活の中には、思いもよらない畏がたくさん存在して

います。楽しそうに思えることもあると思います。しかし、そのちよつとした油断、心のすき間に非行や不良の芽が入り込むのです。「このぐらいならいいだろう」とか「ほかにもしている人がいるから」、そんなちよつとした油断が不良や非行の始まりなのです。「ちよつと不良ばい方がかっこいい」、そんなふうにいる人もあると思います。しかし、本当にそうでしょうか。それで、補導されて、本当に後悔しないのでしょうか。

わたしは実際に万引きをしてしまった生徒の話から聞きました。ごくごく普通の生徒だったそうです。本人も当然ショックを受けていたそうですが、本人以上に家族がショックを受けたそうです。そして、仲の良かった友達も、どう言葉を掛けようかとずいぶん悩んだようだったと聞きました。

「もし、わたしの大切な友達が万引きをしたら」と考えてみました。なぜそんなことになったのだろうかと考え、「わたしには何かできないかあったのだろうか」と自分のふがいなさに悩むと思えます。

そして、それは人間は一人で生きていくのではないからだと思います。自分だけの人生ではないのです。わたしたちは皆、周りの人とつながり合って生きています。つながり合っているのだから、だからこそ、ほかの人の頑張りに感動したり勇気づけられたりすることもあつた、傷つけられたり

り悩んだりするのだと思うのです。

そこで、わたしは皆さんに、二つのことを提案します。一つ目は、「良いことと悪いことのけじめをしっかり持つ」ということです。そして二つ目は、「誘惑に負けない強い心を持つ」ということです。

もしも、迷ったときには、自分のことを考えてくれる人のことをちよつと思いついてみてください。家族や友達や先生が、きつとあなたを強く支えてくれるはずです。

わたしにも、今大切な友達や家族がいます。わたしのために、その人たちを悩ませるわけにはいきません。ですから、自分はどう生きたいのかしっかりと考えて行動できる自立した人間になりたいと思います。

◆そのほかの受賞結果◆

《優秀賞》

「柔道が教えてくれたこと」

能代南中学校 3年 渡辺 勇真

「心の闇を照らすもの」

能代第一中学校 3年 種藤 華代

《優良賞》

「自分を守る意識をもって」

能代第二中学校 3年 田中 瑞樹

「自分の顔を知っていますか？」

東雲中学校 3年 神尾 光生

「小さな世界」を飛び出そう」

常盤中学校 3年 野村 早紀

「愛は勝てるのか？」

能代東中学校 3年 戸松 央理